





子どもたちが快適に学べる環境提供

施設一体型小中一貫校整備事業



校舎棟と屋内運動場棟



西側外観



まなびの森の夕景



中庭

小学生対象に現場見学会など開催

現場では「地域や人とつながりながら建設する」ことを目指し、地域貢献活動や建設業の魅力発信に積極的に取り組んだ。

仮囲いには新しい学校に親しみを持ってもらうと、統合予定の児童や隣接する保育園の園児の作品をシートにして展示。仮囲いの一部に高さが違うのぞき穴を設け、大人や子どもが現場を見られるようにした。戸田建設の京極電之佑所長は「ニコニコしている子どもの姿を見ると、本当にうれしく、やって良かった」と話している。市の特産品や季節ごとのイベント情報、産業PRキャラクター「おりひめちゃん」も掲示するなどPR活動に取り組んだ。

地域行事にも積極的に参画した。交野市は天の川伝説があり、毎年7月下旬に「七夕まつり」が開かれている。着工した2022年から3年連続で協賛し、祭りを

仮囲いに園児の作品展示、地域行事に参加



現場見学会

彩る大笹飾りの準備やランタン企画に協力した。グラスランタンは昨年がアンパンマン、今年はドラえもんのように人気を集めた。新型コロナウイルスの影響で5年ぶりに開催された交野マラソンにも協賛・参画した。現場がコースに近く、給水所を設置し、約3000人のランナーにスポーツ飲料を配った。社員9人もエントリーして10kmを走り切った。

2025年4月から通学予定の小学6年の児童約120人を対象に現場見学会を開催した。新しい学校への愛着と建設業に興味をもってもらうのが目的で、現場見学のほか、建設資材に触れ、塗装の体験や名前を建物に残す体験型の見学会を企画した。京極所長は「子どもたちが新しい学校を楽しみにしていることがよく分かった」と話し、施工会社として「身の引き締まる思いを感じた」と振り返っている。

7月には兵庫県内の2校の工業高校から建築科2年の60人を迎え、現場の最前線で働く職人の仕事を見て、実際の作業を体験してもらった。専門協力会社リクルート部会と協働し、仕上げ工事を中心に6工種を選定した。京極所長は「今後の就職活動の参考にして、一人でも多くの技能者が増えることを願う」と期待している。

地域貢献活動と建設業の魅力発信

実施設計段階から工業化工法を提案

現場では「労務不足による工程の遅延は絶対に起こさない」という強い思いで実施設計段階から様々な工業化工法を提案し、躯体工事などで採用した。新築工事が着工した後も早期に協力会社と施工の打ち合わせを行い、広い敷地を最大限活用して生産性を向上させた。

省力化工法は杭頭半固定工法など多岐にわたる。杭頭半固定工法の「F・T・Pile構法」は配筋の密集化や補強筋溶接の工程を減らすのが目的で、墨出しや配筋の手間を削減した。

耐圧盤は厚さ30cmで設計していたが、解体工事後に10カ所以上の試掘調査で地下水位を計測したところ、建物の浮き上がりやピット内への湧水が浸入しないことを確認したため、厚さ10cmの土間コンクリートに変更した。それによって平坦な作業床で基

礎躯体工事が可能となり、施工効率の向上と安全性の向上を図った。

また、戸田建設が保有する「大開孔基礎梁工法(K型補強筋)」を採用し、地中梁の梁せいを1800mmから1500mmに変更して掘削土量や搬出残土量、コンクリート量を減らした。

このほか、RC造部分のスラブ型枠はトラス筋付デッキに変更し、躯体工程サイクルを1工区当たり2日短縮。バルコニー躯体のハーフプレキャスト(PCa)化は躯体工程を1フロアで最大12日短縮させた。

着工後も基礎躯体下部の先行打設や鉄筋の密集による充填不良防止を目的とした「DBヘッド定着工法」などを採用した。地中梁・柱・梁の鉄筋、梁・壁の型枠は地組を行い、施工性・安全性を大きく向上させた。



バルコニーハーフPCa



地上で鉄筋を地組

生産性向上の取り組み

「地域や人とつながりながら建設する」を实践



仮囲いの装飾



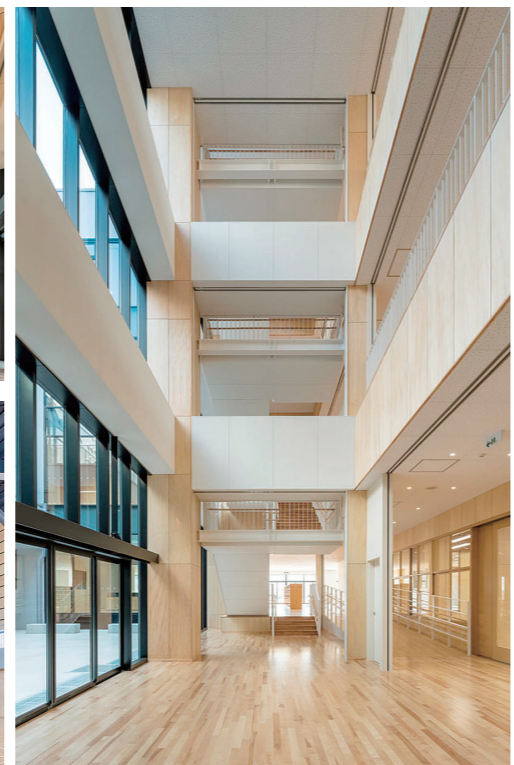
地域の行事に積極的に参加



音楽室



屋内運動場



1階吹抜

「若くてもできる 若いからこそできる」作業所

学校の建物は初めてで、解体から新築完了まで現場を経験できたことが自身のスキルアップにつながった。将来を担う子供たちが利用する建物に携われたことも良かった。学校建築に配属された際は、この経験を生かしていきたい。

鉄骨造は初めての経験で、鉄骨と外装の取合いやサッシとの取合いなど納まりがRC造と違うことも多く、戸惑いながらも図面を確認して出来上がっていく姿を見られたのが良かった。土日祝休みのモデル現場で公私ともに充実した環境だった。社員会議でも発言しやすい雰囲気があり、気になることはすぐ解決できた。今後も楽しく仕事をやり、その雰囲気が周りの人に伝わってほしいと思う。

来日後2カ所目の現場で、上司の指導のもと工事写真の撮影を通して、様々な知見を深めることができた。所長や先輩に分らないことは相談しやすく、毎週の社員打ち合わせでも自分の意見や状況が言いやすい環境だったので、積極的に仕事に取り組むことができた。将来は建築士になり、人を笑顔にして社会に貢献したい。



工事担当 細川 貴洋



工事担当 太嶋 星

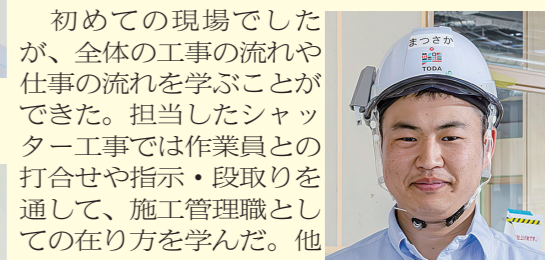


工事担当 カイン・ジン・テツ



工事担当 伊藤 啓吾

RCとSの複合的な構造を経験できた。特に取合部には苦勞し、工程・品質・安全管理の面で成長できたと感じる。若い社員構成であったことから、自らの判断で動き、チャレンジできる環境だった。社員同士、また作業員とも良好な関係であり、現場の良い雰囲気が安全面・品質面においては良い方向に向かうことを実感できた。30代で所長になることを短期目標に掲げ、現場の最前線で活躍する人材になりたい。



工事担当 松坂 海斗

初めての現場でしたが、全体の工事の流れや仕事の流れを学ぶことができた。担当したシャッター工事では作業員との打合せや指示・段取りを通して、施工管理職としての在り方を学んだ。他の現場では体験できない業務を行い、莫大な経験値を得ることができた。先輩社員や協力会社にも恵まれ、初現場がこの現場で良かった。同期で一番早くに所長になり、今まで育ててもらった先輩社員に恩返しをしたい。

Table listing various construction companies and their contact information, including addresses and phone numbers. The table is organized into columns and rows, listing companies like 高成産業株式会社, 株式会社 大同機械, 株式会社 内田洋行, etc.